

# Lion

**IWATE**

2020.5

332-B地区  
アクティビティスローガン

「地域と共生」  
— 継続は力なり —



## 332-B地区 第66回年次大会代議員会を終えて

キャビネット幹事 L. 伊藤 完治(盛岡LC)

5月17日開催に向けて、332-B地区第66回年次大会の準備をしていましたが、全国で新型コロナウイルスの感染者が続出している状況から、クラブ会員の皆さんの健康と安全の確保が第一との判断で、大会の中止を決定しました。2019-2020年度の最大行事である年次大会中止の決断は、地区ガバナーL. 平野喜嗣にとって断腸の思いだったと推察します。

また、大会式典をはじめ支援エクスカージョン「三陸鉄道リアス線に乗って～日帰りの旅～」や「LCIFキャンペーン100チャリティゴルフコンペ」等準備を進められていたキャビネット役員の皆さんにとっても辛い決断だったと思います。

代議員会についても国際協会本部から集会によらない決議の方法について指針が示され、それを遵守しながら各クラブあてに返送での投票、議案の可否の取りまとめを依頼しました。

4月22日(水)午後1時から盛岡グランドホテルにおいて、各クラブから郵送されてきた封筒の開票が行われました。3密にならないようにホテル側の配慮もいただき、地区常任名誉顧問L. 宮田謙、地区年次大会委員長L. 伊藤英明の立会い

のもと、地区ガバナーL. 平野喜嗣をはじめ、代議員会議事運営構成メンバー、キャビネット副幹事L. 赤坂勝、キャビネット事務局長L. 樋下光を含む15名での開票作業となりました。

開票作業 書面決議回答数および回答内容確認。  
次期地区ガバナーおよび第一副地区ガバナー開票

資格審査委員会委員長 L. 平野喜嗣  
議事運営委員会委員長 L. 菊池徳男  
指名選挙委員会委員長 L. 関根 信

### 代議員会提出議案

1. 資格審査委員会  
第1号議案 大会代議員の資格を審査し代議員会の成立を確認する件
2. 議事運営委員会  
第1号議案 大会代議員会の議事運営について承認を求める件
3. 指名選挙委員会  
第1号議案 2020～2022年度国際理事立候補者推薦の件



開票作業の様子

- 第2号議案 次期地区ガバナー選出の件
- 第3号議案 次期第一副地区ガバナー選出の件
- 第4号議案 次期第二副地区ガバナー選出の手続きについて
- 第5号議案 次期地区年次大会開催地及びホストクラブ決定の件

#### 4. 代議員会

- 第1号議案 国際平和ポスターコンテストへの参加促進を図る件
- 第2号議案 第59回東洋東南アジアフォーラムへの参加促進の件
- 第3号議案 LCIFへの寄付協力の件
- 第4号議案 2020～2021年度地区会費の徴収金額の承認を求める件
- 第5号議案 2020～2021年度地区大会費の徴収金額の承認を求める件
- 第6号議案 2018～2019年度 各種地区会計決算の報告と承認を求める件
- 第7号議案 2019～2020年度各種会計の地区上半期決算の報告と承認を求める件

- 第8号議案 クラブエクステンション並びに会員増強を推進する件
- 第9号議案 2020～2021年度の地区アクティビティ・スローガンを決定する件
- 第10号議案 国際地球デーの件
- 第11号議案 「ひかりの箱」募金活動の継続を求める件
- 第12号議案 ライオンズクエスト・プログラムを推進する件
- 第13号議案 地区緊急援助積立金の協力を求める件
- 第14号議案 332複合地区緊急援助積立金の協力を求める件

代議員会が成立することを確認し、すべての議案について原案通りに承認されました。

各結果、決議確認の報告後、地区ガバナー L. 平野喜嗣による閉会宣言にて、代議員会終了となりました。



議事運営委員会報告を行う、委員長 L. 菊池徳男



開票結果を発表する、指名選挙委員長 L. 関根 信



## 第66回年次大会 栄光のAward 金賞授賞の声

今年度のAwardが発表されました。数あるAwardのうち、「栄光のAward」金賞を授賞されたクラブ会長の喜びと感謝の声をお届けします。



### 「グッドスタンディング大賞、 LCIF大賞」を受賞して



盛岡ライオンズクラブ会長 L. 山戸 常雄

このたびはグッドスタンディング大賞金賞とLCIF大賞金賞をダブルで頂戴いたしました。本当にありがとうございます。盛岡LC全会員を代表し御礼を申し上げます。

あれは4年前の2月のこと。前年に三役（幹事）に就任した後、当時の会長から、次期、第三副会長に就任して欲しいとの連絡がありました。一度は力量不足でお断りしたのですが、大事な60周年の年で、ほぼ決定事項なので、是非ともお願いしたいとの要請を受け、了承しました。しかし、60周年の年は盛岡LCから地区ガバナーL. 平野喜嗣の誕生と、キャビネットのホストクラブも重複すると聞き、大変な年に会長の大役を仰せつかったと、身も心も引き締まる思いでその後のクラブ運営に真摯に取り組んできました。

話は変わりますが、私は10年程前から家庭菜園に興味を持ち、趣味とするようになり、自宅の庭（30坪程度）で毎年20種類以上の野菜や果物を栽培しています。現在では思ったような量・質・味の作物を育てるようになっております。始めた年は苗や種を植えただけで面白いように収穫でき、プロの農家も凌駕したような自惚れにも似た自信がありました。しかし2年目、3年目になると、いつも通りやっても思うように育たず、挫折感に苛まれていました。どうしたものかと思案し、近くで野菜を作っている友人に相談したところ、「野菜の種類によって微妙に育て方が違い、さらには岩手山の雪解け模様や、その年の天候、気温によっても種まきのタイミングが変わる」こと。そして「一番大事なのが土づくりで、栽培が終わった初冬から始めないと、よい作物が育たない」こと。また、農家出身者らしい助言で「先人からの習わし、知恵、工夫、さらには育てた作物への気配り、心配りが必須で、セオリー通りやればある程度の結果は得られるが、それ以上の成果は望めない」ということを教わり、クラブ運営にも相通じるものがあると『目からウロコ』の思いでした。

今回の受賞は、たまたま60周年の通過点に幸運にもいただいたもので、歴代の会長をはじめ、会員の方々が今日まで積み重ねた「We Serve」の精神が、Awardに繋がったものと確信しております。

終わりに、手前味噌ではありますが、盛岡LCの会員相互の絆は強固で、物事をまとめるスピード、決断力には目を見張るものがあります。今後の活動における進化で、一層の期待大です。



## 「アクティビティ大賞」 を受賞して



釜石ライオンズクラブ会長 L. 只野 義則

この度は、栄光のアクティビティ大賞の金賞を受賞することとなりまして、釜石LC全会員を代表し、心から御礼申し上げます。

今回受賞させて頂いた「被災地応援コンサート中継」ですが、本アクティビティ自体は本年2月24日に実施したものです。そもそも2019年8月28日に既に交流がある京都府の園部LC会長L. 樋口雄一よりご連絡を頂き《毎年開催している被災地応援コンサートを中継で結んで直接応援したい》と打診されたのが始まりでした。生中継・生放送、それは普通に考えれば大枚を必要とするプロジェクトですが、実に私の本業の主力が通信事業であり、たまたま2019年8月9日に採用した事務局員が、システムエンジニアという偶然が重なり、お金を掛けずに双方の想いを伝えることを目標に、既存のインターネットサービスを利用して催行する計画としました。

2019年12月14日・15日に京都から高校生と教諭、園部LCの皆さまが釜石を訪れてくださり、釜石の高校生たちと事前交流会を開催しました。2月24日の本番当日は、園部高校合唱部・京都聖母学院高校コーラス部・河鹿合唱団の各団体ごとのコンサートと、3団体合同の合唱をYouTubeの生放送で視聴。釜石LC事務所へ来所できる釜石高校在校生に限っては、ラインビデオ通話を利用して、コンサートを視聴しながら京都と中継を結んで交流を行い、大盛況でした。

金銭アクティビティゼロ・コロナ感染ゼロ、それでいて気持ちが良く伝わったアクティビティでした。今後も、中身を重視した奉仕活動に取り組みたいと思います。

末筆ですが、平野ガバナーをはじめキャビネット役員・事務局の皆様方へ深く感謝申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。



## 「クラブ運営優秀賞」 を受賞して



和賀ライオンズクラブ会長 L. 立花 かおり

先日今期332-B地区第66回年次大会アワード授賞クラブ発表で、グットスタンディング賞銅賞、クラブ運営賞優秀賞金賞、献眼、献腎推進優秀賞金賞、ガバナー特別賞、また当クラブ終身会員のL. 石田武定が個人賞と多数の授賞を受け、心より光栄に存じます。

和賀ライオンズクラブ初の女性会長ということで、とてもプレッシャーの中でのスタートでした。「【和】の輪で繋げ心に響く社会奉仕」をテーマにして、5役、各委員長にもその都度ご協力をいただきながら、重点目標達成を目指して活動してきました。途中なかなか思うような活動ができなかったことも多々あります。今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、奉仕活動ができず、とても残念でなりません。しかしながら『和賀フロンティア支部』結成10名でのスタート、ライオンズの初心に戻り、視力ファーストの【献眼献腎推進】等、共にメンバー全員の協力を得ながら、当クラブの『和賀は和賀らしく』をモットーに活動し、私自身大きく成長させていただいたように思います。

会員との輪と信頼、絆で結ばれていることを改めて実感しました。それが今期の授賞結果に繋がったと心から感謝するとともに、今後継続して「We Serve」の心で活動していきたいと思えます。



## 「会員増強優秀賞」 を受賞して



盛岡中津川ライオンズクラブ会長 L. 橋本 宏悟

この度、332-B地区第66回年次大会アワード「栄光のアワード 会員増強優秀賞金賞」を受賞しました。今、国民は新型コロナウイルスに立ち向かい、政府から緊急事態宣言が発出される中、残念ながら年次大会においての受賞セレモニーは行われない事になってしまいましたが、この様な賞を受賞する事ができ、会員一同感激しております。

今年度の会長テーマを“「皆で楽しく 輪の奉仕」— 良き仲間と社会に広げよう奉仕の心 —”としてクラブ運営を図っておりますが、運営方針で定めた会員増強目標を上回る、純増8名の会員増強を果たしております。この事は、各会員が会員増強に対し意欲的に取り組んだ成果であり、また当クラブより「ガバナーアワード 個人賞」を受賞したL. 上原充郎が大きく貢献されています。

今般当クラブでは更に、「栄光のアワード グッドスタンディング大賞 銀賞」及び「ガバナーアワード キャビネット協力賞」を受賞致しました。これは、盛岡中津川ライオンズクラブ会員全員が奉仕を楽しく心がけて実践できている事を表していますし、当クラブ会員が作り出した風土が生み出した結果であると自負しております。

しかしながら、日本は人口減少・少子高齢化の局面に入っており、会員数の維持、増強は今後更に大きな課題になっていきます。この大きな課題に対し、今後も「奉仕の楽しさ」を全員で分かち合えるクラブ運営を心がけていく所存です。



## 「労力奉仕優秀賞」 を受賞して



室根ライオンズクラブ会長 L. 齋藤 正和

この度は第66回年次アワード「労力奉仕優秀賞 金賞」受賞することとなり心より感謝申し上げます。  
当室根ライオンズクラブは、今年度22年目を迎える、他クラブよりも新しいクラブです。会員の半分ほどが、チャーターメンバーです。

奉仕活動を通じて地域社会への貢献、青少年健全育成、クラブ員の親睦・交流を目指して活動をしています。毎月1～2回の事業を行っています。発足時より持続している事業は、特別養護老人ホーム孝養ハイツ周辺の草刈り・敬老会・クリスマス会・夏祭り、むろね夏祭り屋台参加、室根町2駅の清掃作業、室根高原クリーン作戦、蟻塚公園・折壁駅桜の木の手入れ、プランターの花植配置をしています。また、ブックスタート事業や室根ライオンズクラブ活動広報、蟻塚公園への新しい桜の苗木植え、ライオンズの森の整備も加えて行っています。ライオンズクラブの会員であると共に、各種団体の構成メンバーであり、常に諸行事にも参画し、地域の皆さんと共に活動しています。今年度は、ガバナーアワード家族協力賞も受賞できました。常に家族会員の協力に感謝し、今後も協力願いたいと思っています。

これまで数々のアクティビティの基礎を築かれた諸先輩方々の思いを受け継ぎ、邁進していきたいと思えます。これから25周年・30周年に向けて、引き続き労力奉仕・支援活動を継続していきます。ありがとうございました。



## 「クラブ間交流優秀賞」 を受賞して



久慈ライオンズクラブ会長 L. 橋下 文夫

本来であれば桜咲く春の日を堪能しているこの時期ですが、誰もが予想だにできなかったコロナウイルスの影響で、世の中が大変なことになってしまいました。この苦境を乗り越えるために、何かできることは無いのかと思いつつも、自分の力不足を痛感しております。一日も早くこの事態が収束しますよう、心からお祈りいたします。

さて、昨年10月6日に八戸LCの60周年式典にご招待していただき、その際に友好クラブの盟約締結式の提案をいただきました。会員に相談したところ、八戸LCには久慈LCの設立にあたり大変お世話になっており、それ以来のお付き合いとの事で、喜んでお受けすることにしました。

締結式は、当LCと鹿児島LCの3クラブで厳粛に行われました。このことで両LCの絆がより一層深まり、よい交流をしながらお互いのクラブが刺激しあい、発展していければと思います。

締結式の後に少し時間がありましたので、八戸LCの会員の案内で、新しくなった長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)を見学してきました。

式典には、遠くハワイからココヘッドLCの方々をはじめ、約300名の参加があり、にぎやかな大式典となりました。

残念ながら友好クラブとしての交流ができない状況になっておりますが、コロナが絶滅し、いろいろなアクティビティができる日が一日も早く来るよう祈っています。

最後にお互いに体調には十分気を付け、この窮地を乗り越えましょう。



## 「献血推進優秀賞」 を受賞して



江釣子ライオンズクラブ会長 L. 菊地 哲

1987年6月21日、江釣子LC結成から、第33代会長として最後の月を迎えようとしています。会長就任にあたり、目を背けてはいけないデータがありました。「栄光のAward」過去10年の間で、献血推進優秀賞金賞10回・銀賞2回受賞、献眼・献腎推進優秀賞金賞5回・銀賞2回・銅賞2回受賞の歴史です。献血推進優秀賞においては、10年連続金賞銀賞受賞を継続中です。

1981年開業の江釣子ショッピングセンター・パルにおいて、日本赤十字社とのパートナーシップを大事にし、献血推進アクティビティに尽力してきました。過去10年間では、約7500人から約263万mlの採血をいただいております。歴史のある活動です。少子高齢化がすすみ、いかに血液を確保するかが大きな課題となっている中で、継続することを一番に考え、献眼・献腎推進も併せて、今後ともクラブ全体で取り組んで行けたらと考えております。

本年度、ダブル金賞受賞は逃したものの、継続していくことの大切さ、沢山の皆様との絆を感じた1年でした。あたらめて、ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。ガバナーはじめ、ライオンの皆様、本当にありがとうございました。

# TOPICS

## 「第3四半期会員維持全国第1位」

332-B地区は2020年1月-3月期 会員維持で全国第1位となりました。  
年度末、期首に対する会員純増5%必達を目指しましょう。

2020年1-3月期 地区別クラブ数・会員数

2020.3/31現在

地区	2020/1/1~2020/3/31						
	クラブ数	結成	解散	会員数	新入会	退会	増減
330-A	196	1	0	6,251	129	76	53
330-B	154	1	1	4,111	70	43	27
330-C	79	0	0	2,093	17	31	-14
MD330	429	2	1	12,455	216	150	66
331-A	72	0	0	2,631	17	45	-28
331-B	78	0	0	2,452	29	34	-5
331-C	51	0	0	1,826	31	30	1
MD331	201	0	0	6,909	77	109	-32
332-A	61	0	0	2,033	31	28	3
<b>332-B</b>	<b>50</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,210</b>	<b>32</b>	<b>4</b>	<b>28</b>
332-C	58	0	0	1,743	16	23	-7
332-D	70	0	0	2,489	32	45	-13
332-E	55	0	0	1,880	13	22	-9
332-F	45	0	0	1,323	17	10	7
MD332	339	0	0	11,678	141	132	9
333-A	72	0	1	2,899	33	43	-10
333-B	45	0	0	1,565	21	11	10
333-C	126	0	1	3,207	108	60	48
333-D	51	0	2	2,099	59	58	1
333-E	81	0	0	4,634	66	40	26
MD333	375	0	4	14,404	287	212	75

純増2位

会員維持1位

純増3位

地区	2020/1/1~2020/3/31						
	クラブ数	結成	解散	会員数	新入会	退会	増減
334-A	115	0	0	5,959	69	77	-8
334-B	78	0	0	4,325	45	32	13
334-C	77	0	0	3,236	52	41	11
334-D	97	0	0	5,315	46	33	13
334-E	49	0	0	2,541	64	23	41
MD334	416	0	0	21,376	276	206	70
335-A	71	0	0	1,978	40	25	15
335-B	160	0	0	6,941	354	87	267
335-C	106	0	0	3,937	83	46	37
335-D	59	0	0	1,916	44	16	28
MD335	396	0	0	14,772	521	174	347
336-A	141	0	0	5,799	95	113	-18
336-B	90	0	0	2,899	42	54	-12
336-C	85	0	0	3,229	36	52	-16
336-D	88	0	0	2,966	51	47	4
MD336	404	0	0	14,893	224	266	-42
337-A	118	0	0	5,108	57	58	-1
337-B	66	0	1	2,435	30	40	-10
337-C	78	1	1	3,554	62	68	-6
337-D	69	0	0	2,236	74	44	30
337-E	57	0	0	1,835	45	30	15
MD337	388	1	2	15,168	268	240	28
総計	2,948	3	7	111,655	2,010	1,489	521

純増1位

## ライオンズクラブ国際協会から県へ マスク10,000枚寄贈

新型コロナウイルス対策の「緊急事態宣言」の適用地が、4月16日に全国に拡大されました。すでにライオンズクラブ国際協会では、13の特定警戒都道府県へ約20万枚のマスクを感染者数の割合に応じた数量で寄贈していましたが、残り34県にもマスクを寄贈することとなりました。



達増知事（左から2人目）へマスクを有効に使っていただきたいと話す地区ガバナーL.平野



達増知事へマスクを手渡す地区ガバナーL.平野（左）

5月14日、ライオンズクラブ国際協会の332-B地区ガバナーL.平野

喜嗣、キャビネット幹事L.伊藤完治、キャビネット会計L.佐久間修一の3名が県庁を訪れ、達増拓也知事に有効に使っていただきたいとマスク10,000枚を寄贈いたしました。

達増知事からは寄贈されたマスクを医療機関に配布して感染防止に役立てたいと感謝のことばをいただきました。

今回の寄贈は34県へ均等に10,000枚の割り当てとなっています。

盛岡ライオンズクラブ60周年記念

反響をよんだアクティビティ

式典行事実行委員会 記念誌委員会委員長 L. 晴山 博邦

3月15日に予定されていた盛岡ライオンズクラブ（以下盛岡LC）の60周年記念式典は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐことを優先し、6月に延期と決めましたが、一向に終息に向かう気配がないこと、国際理事会からも国際大会中止の決断がなされたことも鑑み、残念ながら中止せざるを得ませんでした。式典行事実行委員会では、式典は中止となったものの、記念アクティビティと記念誌発行は計画通り実施し、事業を終えることができました。

1960年の結成から60年、盛岡LCは時機に臨み、折りにふれて、メンバーの英知と努力を結集し、数々のアクティビティを実施してきました。アクティビティは社会に対するライオンイズムの具体的な表現です。ゆえにアクティビティのあり方は、ライオンズクラブの社会的存在価値につながる極めて重要な問題といえるでしょう。

盛岡LCの1960年代のアクティビティスローガンは、地域問題をテーマにした「へき地の子供達に励ましと希望を」、あるいは「社会の谷間に愛の灯を」などを提案し、不滅のアクティビティ「スズラン給食運動」と結実していきます。

1970年代は本格的モータリゼーション時代の到来に臨み、激増する幼児の交通事故防止のための問題解決と開発に至るまでの取組み「レオ・セーフティ運動」がテーマになっており、北東北にも広がりを見せました。

1980年代は青少年非行防止問題を基底に据えて、子育てのあり方について理解と認識を提起したアクティビティ「母と子のきずな・愛の3カ年運動」を展開しています。

そして60周年においては、特定非営利活動法人こどものみらいプロジェクトゆめドリ（以下NPO法人ゆめドリ）へ『ドリームマップ』運営資金を



コロナに負けずに、We Serve（第1433回例会）

贈呈すること。盛岡市へ「日影門緑地公園 英文併記案内標識」を寄贈すること。以上を記念アクティビティとして実施しました。

## 夢をかなえる「ドリームマップ」に支援金

キャリア教育・ドリームマップ授業の実施や運営は、一般社団法人ドリームマップ普及協会と連携し、NPO法人ゆめドリいわて地域事務局が行っています。

NPO法人ゆめドリでは、このドリームマップ授業をスタートさせてから10年がたち、盛岡市教育委員会の後援も受けながら、平成30年度には実施校が30校を数えました。

子どもたちに主体的に生きる力を育む「ドリームマップ授業」は青少年の健全育成にふさわしい取り組みとして評価し、運営資金を3年間続けて支援することとしました。

## 盛岡のおもてなしの心を込めた案内標識寄贈

今から30年前、1990年の30周年記念アクティ

ビティに盛岡市内の日影門緑地公園と盛岡地方裁判所前にそれぞれ「英文併記案内標識」を設置しました。当時は、'98冬季オリンピック開催地に盛岡市も立候補、'93世界アルペンスキー世界選手権大会が雫石スキー場で開催決定など、今後増える外国人旅行者を観光地、公共施設へ誘導することが、ライオンズクラブのおもてなし、We Serveの形として設置されたものです。

しかし30年が経過し、街の様子も大きく変わってしまいました。外国人旅行者もますます増え、さらに多国籍化となっていることから60周年を迎えるにあたり、精度の高い案内標識とすべく地図情報を一新したものです。

アクティビティは目まぐるしく変化する社会情勢と時代の、生きた証人です。時代と情勢は絶え間なく変化していきますが、過去においてクラブが英知を傾けて、取り組み実施した数々のアクティビティは、いつの世までも不滅の光を灯し続けることでしょう。



目録を手にするNPO法人ゆめドリいわて地域事務局大村洋子代表(右)と盛岡LC会長L. 山戸常雄(2月26日)



谷藤市長を囲んで英文併記案内標識設置の目録を渡した盛岡LC60周年式典行事実行委員(2月27日)



30年ぶりに英文併記案内標識が設置し直された日影門緑地公園にて(3月18日)



設置された案内標識は、大通り日影門緑地公園から県庁・市役所、中津川までの主要施設のイラストマップとなっている

西根ライオンズクラブ

西根ライオンズクラブ50年の歩み

西根ライオンズクラブ会長 L. 齋藤 俊二

最初に、当クラブが予定いたしておりました、本年4月19日開催予定のチャーターナイト50周年記念式典を中止いたしましたことにつきまして、地区ガバナー始め関係者、関係団体の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこと、本紙面をお借りし、お詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者の皆様の健康を第一に考え、苦渋の決断をいたしました。当クラブとしても準備をいたして参りましたので、とても残念でなりません。

しかし、記念事業のアクティビティは予定通り行いましたことをご報告いたします。

さて、当クラブは、盛岡不来方ライオンズクラブのスポンサーにより、1969年8月に結成され、翌1970年6月にチャーターナイトを行いましたので、本年が結成満50年になります。332-B地区では、25番目のクラブです。チャーターメンバーは27名でしたが、現在、チャーターメンバーは1名となっております。正会員は59名であります。この会員数を見ても、如何に当クラブが地域に根ざし、その活動を継続して来たことかをご理解いただけたと思います。

さて、当クラブの事業活動の特徴は何と言っても、青少年健全育成委員会が担当する、子供たちの各種スポーツ大会の主催です。野球大会は18回、サッカー大会の34回、バレーボール大会は16回、

ミニバスケットボール大会は30回を数えます。これらの大会には、他市町村からも多数の参加者をいただいております。その他の事業としては、献血推進、ひかりの箱、薬物乱用防止教室の開催（小学校、中学校、高校）、ライオンの森の手入れ、道路清掃、平和ポスターコンテスト開催、福祉活動への助成、ライオネスクラブへの助成等が毎年行われている活動です。

また、毎年の三役が中心となり、その年度ごとの特別奉仕活動を提案し行っております。

振り返れば50年、何と長い年月の蓄積であったことかと思えます。先輩ライオンや、支えてくれた家族に感謝するとともに、キャビネットを始めブラザークラブの皆様のご指導、ご支援、ご交誼に感謝申し上げます。

今後も、メンバーの結束を固め、ライオニズムの実現に努力していく所存であります。



歳末助け合い募金



西根LC50周年記念事業 八幡平市へ軽トラック3台寄贈



第16回西根ライオンズカップ小学生バレーボール選抜交流大会

クラブ  
紹介

## 大槌ライオンズクラブの紹介



大槌ライオンズクラブ会長 L. 高清水 敬士

私たちのクラブは、釜石リアスライオンズクラブのスポンサーにより1976年4月4日に結成され、同年10月11日に日本で2,024番目、県内で38番目のクラブとして認証を受けました。本年度で国際会員の一員として44年になり、現在クラブ員30名で構成されています。

この間、私たちは歴代会長のもと、会員相互の理解と信頼を深め団結して地道に地域社会に数々の奉仕を続けてきました。しかし、あの2011年3月11日の東日本大震災で会員3名と事務職員が犠牲になり、全会員の自宅や職場が被災し、未だ復興道半ばであります。当時はクラブ存続も危ぶまれましたが、日本全国はもとより全世界のライオンズクラブの皆様からのご支援が、クラブ存続の力となっております。

2012年11月11日に「大槌希望の灯り」点灯式を、敦賀みなとライオンズクラブCN35周年合同事業としておこないました。「大槌希望の灯り」は、「阪神淡路大震災1.17希望の灯り」より分灯し、明石魚住ライオンズクラブ、塩釜ライオンズクラブ、

「陸前高田希望の灯り」、「南相馬希望の灯り」の関係者にも参加いただき、大槌町城山公園に建立しました。毎年3月11日には、東日本大震災の復興への思いや亡くなられた皆様の鎮魂の祈りの場として、清掃活動終了後に法要・献花をおこなっています。仮設住宅へのコメ支援配布、布団乾燥支援も終了し、復興が進んでいるところがみられるようになりました。大槌町内の「おしゃっち」で行われた芸能祭に、うどん・そば類の食事の提供活動、安渡娘活動の材料支援や、青少年健全育成として大槌町学童野球大会、大槌町剣道大会支援の参加、また12月には歳末助け合い慈善なべ募金活動、クリスマス会、陸中山田ライオンズクラブとの合同新年会、宮城県丸森町への復興支援として海鮮ラーメンの提供など、クラブメンバーのできる範囲で活動しています。例会は毎月第一、第三火曜日を主として、事務所で昼食をとりながら行っています。移動例会も取り入れ、和気あいあいと楽しみ、メンバー一人一人と意見交換をしながら頑張っていきます。



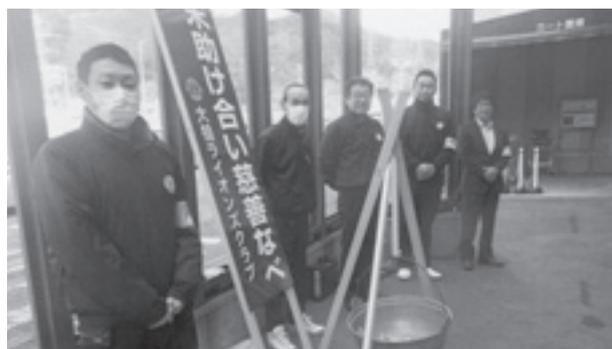
「3.11 大槌希望の灯り」点灯式



毎年3月11日に行っている法要と献花



芸能祭でのうどん・そば類の食事提供活動



歳末助け合い慈善なべ

# 4月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	18日	国際地球デー 盛岡市中央公園に植樹
盛岡不來方LC	23日	国際地球デー 高松多目的広場・こがねパーク高松植樹会
盛岡中津川LC	17日	国際地球デー 南部藩墓地に桜植樹
盛岡観武LC	3月13日	ひかりの箱募金
	3月24日	子ども食堂の為のお菓子販売(事業資金獲得)
	1日	ヘッドネーション
	6日	直接献血
	28日	国際地球デー 小鹿公園清掃
盛岡南LC	22日	緑の募金
滝沢LC	23日	国際地球デー 清掃活動
玉山姫神LC	—	
1R2Z		
二戸LC	12日	国際地球デー 清掃奉仕
西根LC	3月19日	LCIF\$1000献金 2件
	16日	献血推進活動
安代LC	29日	桜公園内清掃活動
2R1Z		
花巻LC	—	
紫波LC	12日、30日	ペットボトルキャップリサイクル事業
	12日	国際地球デー 桜の植樹
石鳥谷LC	—	
花巻東LC	5日	国際地球デー ライオンズの森整備活動
矢巾LC	1日	矢幅駅周辺清掃活動
	28日	新型コロナウイルス感染症拡大防止横断幕掲揚
2R2Z		
北上LC	3月	資源回収リサイクル活動
	3日	使用済み切手20000枚、図書カード送付
	9日	献血推進活動
	15日	北上さくらの会へ寄付
	17日	「いわて共生会あけぼの」にタオル寄贈
和賀LC	3日	資源回収 (事業資金獲得)
	17日	献血推進活動
	22日	国際地球デー 花壇芝桜植栽
北上国見LC	9日、17日、26日	献血推進活動
江釣子LC	12日	献血推進活動
	23日	国際地球デー 江釣子古墳公園に植樹
3R1Z		
水沢LC	7日	後藤寿庵顕彰会協賛金納入
	8日	献血推進活動
	15日	水沢公園野球場放送機器寄贈
	22日	国際地球デー 公園に桜植樹
江刺岩手LC	14日	献血推進活動
	16日	国際地球デー 江刺人首川に桜植樹
前沢LC	16日	国際地球デー 前沢牛博物館に桜植樹
	26日	献血推進活動

水沢中央LC	21日	国際地球デー ひまわり園に桜植樹
	24日	LCIF\$100献金 キャンペーン100、福原毘沙門堂建替・発掘調査運動協賛
金ケ崎LC	14日	介護予防施設「西光荘」友愛訪問
胆沢岩手LC	10日	春の交通安全運動一斉街頭指導
3R2Z		
一関LC	26日	献血推進活動
平泉LC	25日	国際地球デー 弁慶の森草刈り
花泉LC	21日	国際地球デー 老人ホームに桜植樹
一関中央LC	12日	月一労力奉仕活動
	27日	藤の園にマスク1000枚寄贈
一関巖美沢LC	—	
4R1Z		
千厩LC	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
	20日	使用済み切手4000枚送付、ヘッドネーション送付
大東岩手LC	16日	大東小学校に「花の寄せ植えプランター」寄贈
東山LC	6日	新入児童に黄色い帽子とランドセルカバー贈呈
	9日~10日	春の交通安全街頭指導
	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
藤沢岩手LC	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
川崎岩手LC	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
	24日	川崎小学校へ図書寄贈
室根LC	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
	19日	室根山山開き安全祈願祭
4R2Z		
大船渡LC	—	
陸前高田LC	3月31日	ヘッドネーション送付
住田LC	13日	献血推進活動
大船渡五葉LC	—	
5R1Z		
宮古岩手LC	9日	LCIF\$100献金 キャンペーン100
久慈LC	—	
陸中宮古LC	—	
田野畑LC	4日	田野畑中学校歩道桜の天狗巢病駆除作業
岩泉龍泉洞LC	23日~24日	献血推進活動
5R2Z		
釜石LC	20日~21日	医療用防護服代用品として大阪市に雨合羽送付
遠野LC	1日	リサイクル品の回収、国際地球デー 蹄鹿配水公園内の梅剪定
釜石リアスLC	13日	使用済み切手 1000枚送付
	15日~16日	ひかりの箱募金協力店に記念品贈呈
大槌LC	—	
陸中山田LC	—	
ライオネスクラブ		
西根LS	—	
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	—	
一関二高LEO	—	
釜石LEO	—	

## 会員動向

### ●4月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡LC	L. 大崎 哲雄
	L. 荻原 鉄二
	L. 小原 稔
	L. 藤井 義弘
宮古岩手LC	L. 岩澤 邦彦

### ●2020年4月 LCIF\$1000献金

4月はありませんでした

#### ●お詫びと訂正

4月号15ページ、2020年3月 LCIF\$1000献金におきまして、盛岡不来方LCの会員氏名に誤りがございました。訂正しお詫び申し上げます。  
誤：L. 小川克也 正：L. 小山克也

#### ●お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し行事予定に変更があります

6月9日 ⇒ 6月16日	【開催日変更】	第4回キャビネット会議・ZC会議(規模縮小して開催)
6月14日	【中止】	田野畑LC20周年記念式典
6月	【中止】	次期三役事務局員セミナー

### 訃報



大船渡五葉LC  
**故 L. 佐藤 實**  
享年91歳  
1979年9月入会  
(チャーターメンバー)  
4月12日ご逝去



北上国見LC  
**故 L. 菊池 章子**  
享年73歳  
1998年11月入会  
4月18日ご逝去

金ケ崎LC  
**故 L. 高橋 真智子**  
享年64歳  
2015年3月入会  
(家族会員)  
4月19日ご逝去



# アクティビティ フォトグラフ



## 室根ライオンズクラブ



室根山山開記念植樹

## 大東岩手ライオンズクラブ



大東小学校へ花プランター贈呈

## 江釣子ライオンズクラブ



国際地球デー ヤマボウシの記念植樹

## 花巻東ライオンズクラブ



ライオンズの森の整備事業

## 水沢ライオンズクラブ



水沢公園野球場放送機器を寄贈

## 盛岡観武ライオンズクラブ



小鹿公園の整備事業

## 水沢中央ライオンズクラブ



国際地球デー シダレザクラ植樹

## 金ヶ崎ライオンズクラブ



西光荘へ友愛訪問

## 安代ライオンズクラブ



桜松公園内清掃活動

## 釜石ライオンズクラブ



大坂宛支援物資 雨合羽発送

## 盛岡不來方ライオンズクラブ



国際地球デー おかめ桜植樹

## 川崎岩手ライオンズクラブ



川崎小学校へ児童書寄贈

### 編集者プロフィール

今月号が皆様のお手元に届いた今も、岩手県内の陽性者は0人でしょうか？

私只今、雇用調整助成金、持続化給付金その他の手当、資金繰り関係の準備をしています。ライオンたる者、家族を大事にし、社員を守ってこそ楽しい奉仕！  
…さて、写真は中津川です。新型コロナで余裕が無かったのですが、会社から見える川辺の桜、満開過ぎて葉桜になりつつありました。見頃を逃したか。残念。このコロナ禍を乗り越え、来年は皆さんと花見がしたいですね。

ライオンいわて編集委員 L.鈴木史章 (㈱鈴木測量設計 代表取締役)



### 【表紙の写真】 門前寺からの岩手山の眺望

のりを芝桜が彩るころ、田植えの準備がはじまります。広々とした田園地帯から岩手山を望める門前寺は、盛岡市の眺望景観保全地域に指定されています。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

### ライオンいわて編集委員会

発行 2020年5月25日

発行人：L.平野 喜嗣 (盛岡 LC)  
編集長：L.晴山 博邦 (盛岡 LC)  
副編集長：L.高橋 英雄 (玉山姫神 LC)  
編集委員：L.黒澤 秀之 (盛岡不來方 LC)、L.鈴木 史章 (盛岡中津川 LC)、  
L.根澤 将藏 (盛岡観武 LC)、L.小野寺 平信 (盛岡南 LC)、  
L.真田 早子 (滝沢 LC)

印刷 川口印刷工業株式会社  
〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2  
TEL：019-632-2211 FAX：019-632-2217  
E-mail：lion332b@kjp.co.jp  
キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号  
TEL：019-621-1415 FAX：019-621-1420  
E-mail：office-332b-morioka@almond.ocn.ne.jp